産業都市
堺の実力
上

世界標準支える伝統技術

二〇〇六年四月に政令指定都市への昇格を目指す大阪府堺市は、産業都市としても飛躍しようとしている。金属加工の技術に優れた中堅・中小製造業、臨海部の工場などで事業を展開する大手製造業、商業施設を相次いで建設する流通業などがあり、近世に貿易都市として栄えたように国内外の競争に打って出る。産業界の実力を探った。

堺市の大和化成はリチウムイオン電池用のパッキンを特殊樹脂で加工する。世界の多くの携帯電話に使われており、松下電池工業、ノキア、モトローラに納入している。

韓国の大手企業と〇四年七月に自動車用、今年七月に携帯電話用の納入で契約した。評価されたのは精度の高さだ。沢田明伸社長は「誤差は二十ミクロン（ミクロンは百万分の一）メートル以内」と説明する。

機械化と職人技

向陽技研は座いすの背もたれ調節金具を年間約七百万個生産し、市場占有率は国内八〇%、海外六五%と推計する。二〇〇五年七月期の売上高は前期比七%増の九億円になりそう。山下善伸会長は「機械化も進めているが、材質の見極め、熱処理などで職人技も重要」と強調する。

刃物も製造した向陽技研。座いす用金具製造で世界シェア6割以上を誇る（大阪府堺市の工場）

自転車や刃物土台に精度・低コスト武器

両社とも堺の伝統産業の自転車や刃物の製造を経て、世界に飛躍している。大和化成は自転車部品の金属加工技術を樹脂に応用した。向陽技研は化学工業の工場が多く、包丁や自転車部品を手掛け、鍛造技術を磨いた。協力企業が関連する幅広い技術力を伸ばし、産業界に厚みを加えた。

堺の強みは伝統技術だけではない。臨海部に重プラント設計・製造の大阪府立産業開発研究所は二〇〇三年、府内の機械金属関連の製造業が集まる地域として東大阪市、八尾市など三カ所を選び、調査した。堺市も機械金属関連が多いが、取り上げられなかった。堺市は製造業の拠点として必ずしも重視されているわけではない。

多彩な業種、看板分野見えず

総務省の事業所・企業統計調査（〇一年）で、堺市（旧美原町を含む）の事業所数は三万三千六百八十八と全国十四位だった。東大阪市（三万千百六十四）、千葉市（三万九十七）を上回り、他の政令指定都市に次ぐ。製造品出荷額などは二兆二千五百二十七億円で東大阪市（一兆三千三百七十五億円）を引き離したものの、順調に成長したとはいえない。年度（府調べ、〇〇年）。

問題は機械金属関連の製造業だ。堺市の中心となる業種ながら、他地域に比べて事業所数が少ない。大阪市（一万九百十四）、東大阪市（五千八百四）、八尾市（二千八百七）を下回り、千九百五十三だった（府調べ、〇〇年）。多彩な業種が集まっているが、看板となる分野が見えにくい。

堺市は〇〇年の産業振興ビジョンで重点分野の産業を掲げたものの、順調に成長したとはいえない。年度内にまとめる政令指定都市のビジョンで看板の分野を明確にし、産業界の強みを際立たせる振興策が期待される。

アイテックは気体と液体の中間の性質を持つ超臨界二酸化炭素を抽出する装置を開発した。装置の中核の高圧容器を製造する際に「高温、高圧を扱うのが得意な堺の企業の協力が必要だ」（飯田勝康社長）という。

企画力など課題

産業用ロボット製造、テクノアオヤマを創業した青山好高社長は「堺のエジソン」と呼ばれる。国内の特許出願は五百五十件以上、このうち三百件以上が認められた。

主力製品「スタッドボルトフィーダー」はボルトを包み、溶接する面に磁力で密着させ、電流を流して溶接する。品質や低コストが評価され、トヨタ自動車やホンダの工場に導入された。〝家電王国〟関西に自動車産業の好況が波及し、堺の産業も発展させている。

堺市が〇四年にまとめた調査で、市内に本社を置く製造業が挙げた自社の「強み」の一位は「精度」、「今後強化したいもの」の一位は「企画力・商品開発力」だった。

帝国データバンク大阪支社で大阪府内の製造業を調査した北村慎也氏は「堺は東大阪より中小企業の数が少なく、独自製品が少ない印象がある」と指摘する。製造業の拠点として発展するには、企画・開発部門の整備や人材育成が欠かせない。

堺発（メード・イン・サカイ）の戦後の主な高シェア商品・独自商品

発売時期	商品	発売元
1953年	球を使った軸受けユニット「ピローブロック」	日本ピローブロック
同上	刃と柄を別にした園芸用せんていばさみ	アルスコーポレーション
1963年	粉末状の酢「すしのこ」	タマノイ酢
1973年	自転車基幹部品のセット「デュラエース」	シマノ
1974年	座いす用調節金具「ラチェットギヤー」	向陽技研
1982年	角電池用パッキン	大和化成
1993年	小型発電機「ユニ・エースポール」	錦正技研
1999年	ボルト供給ロボット「スタッドボルトフィーダー」	テクノアオヤマ
2000年	食品の残留農薬などを取り除く超臨界二酸化炭素抽出システム	アイテック
2004年	燃料電池自動車向けの超高圧水素ガス圧縮機	加地テック

スム
レ
ステ

監視の専門組織

無農薬野菜の
氷併栽培工場

を持つ和歌山県、奈良県、大阪府の企業経営者らが
原地区の土地、一万六千
設、来年一月に稼働させ
る。総事業費は十二億五
リー、赤ラディッシュ
などのスプラウト（新